

問1 聖武天皇が国分寺とともに、日本各地の女性のために建立させた寺院を何という？

1. 国分寺 2. 元興寺 3. 国分尼寺 4. 大安寺

問2 奈良時代、人口増加に伴う口分田の不足を解消するために、開墾した土地の永代私有を認めた法律を何という？

1. 墾田永年私財法 2. 大化の改新 3. 公地公民制 4. 三世一身法

問3 奈良時代の仏教文化を象徴する建造物で、西アジアの品々も収められている有名な寺院を何という？

1. 薬師寺 2. 東大寺 3. 唐招提寺 4. 法隆寺

問4 奈良時代、唐の進んだ政治制度や文化を学ぶために、日本が中国へ派遣した使節団を何という？

1. 遣高麗使 2. 遣明使 3. 遣隋使 4. 遣唐使

問5 奈良時代、仏教の力によって国を災いから守ろうとする思想を何という？

1. 仏国土思想 2. 神国思想 3. 鎮護国家 4. 王権神授説

問6 奈良時代の僧・行基が、民衆のために橋の架設、池の造成、道路整備などを行った活動を総称して何という？

1. 社会事業 2. 租税徴収 3. 軍事動員 4. 戸籍作成

問7 正倉院にゆかりの品々がおさめられている、奈良時代の天皇は誰？

1. 天武天皇 2. 聖武天皇 3. 孝徳天皇 4. 桓武天皇

問8 聖武天皇の時代に奈良を中心に栄えた、唐や西アジアの文化の影響を受けた国際色豊かな文化を何という？

1. 国風文化 2. 白鳳文化 3. 飛鳥文化 4. 天平文化

問9 平城京の設計のモデルとなった、唐の都の名前を何という？

1. 長安 2. 平安京 3. 洛陽 4. 平城京

問10 聖武天皇が鎮護国家の象徴として建立を命じた、奈良にある寺院を何という？

1. 法隆寺 2. 興福寺 3. 東大寺 4. 薬師寺

問11 奈良時代の班田収授法において、政府が戸籍に基づき土地（口分田）を分け与える対象となったのは何歳以上の男女？

1. 15歳以上 2. 6歳以上 3. 17歳以上 4. 21歳以上

問12 人口増加により不足し、開墾のきっかけとなった、政府が農民に与えた土地を何という？

1. 位田 2. 公田 3. 職田 4. 口分田

問13 奈良時代、聖武天皇が仏教による国家の守護を目指して、国分寺の総本山として都に建立させた寺院は何という？

1. 東大寺 2. 興福寺 3. 唐招提寺 4. 法隆寺

問14 約4500首もの多様な階層の歌が収められている、日本最古の歌集を何という？

1. 古今和歌集 2. 新古今和歌集 3. 万葉集 4. 懷風藻

問15 大化の改新以降、土地や人民はすべて国家のものであるとした原則を何という？

1. 土地私有制 2. 公地公民 3. 墾田永年私財 4. 荘園公領制

問16 奈良時代、租庸調の税を納める際に、荷物の内容や送り主などを記すために使われた木製の札は何という？

1. 戸籍 2. 計帳 3. 正税帳 4. 木簡

答え合わせ・解説

問1	答え 3 国分尼寺	国分尼寺は、国分寺と同様に「鎮護国家」の願いを込めて建てられました。法華滅罪之寺とも呼ばれ、女性僧侶（尼）が修行を行い、祈りを捧げる場所でした。各地の国府の近くに建てられ、国分寺とともに仏教信仰の地域的拠点として重要な役割を果たしました。
問2	答え 1 墾田永年私財法	743年に制定された墾田永年私財法は、新しく開墾した土地の永代私有を認めるものです。それまでは一定期間後に土地を返還するルールでしたが、この法律により私有が認められたことで、農民や有力者による開墾が活発になりました。
問3	答え 2 東大寺	東大寺は、当時の都である平城京に建立された巨大な寺院です。特に聖武天皇が発願した「東大寺の大仏」は、当時の国家の威信と仏教への信仰心の象徴でした。この寺院の宝物を収める正倉院には、シルクロードを経由して伝わった多くの貴重な宝物が現在も保管されており、当時の国際交流の様子を伝えています。
問4	答え 4 遣唐使	遣唐使は、天皇の命を受けて唐の都である長安へ赴き、最新の仏教や学問、政治体制を吸収しました。阿倍仲麻呂や最澄、空海など、多くの著名な人物も遣唐使として渡航し、帰国後に日本の文化や仏教の発展に大きく貢献しました。
問5	答え 3 鎮護国家	鎮護国家とは、仏教の加護によって国を安定させ、平和を守ろうとする思想です。聖武天皇は、この思想を国家運営の柱とし、東大寺に巨大な大仏を造立しました。また、あわせて全国に国分寺や国分尼寺を建立させるなど、仏教による統治を強めました。
問6	答え 1 社会事業	「社会事業」は、行基が全国各地を回り、民衆の生活を助けるために行ったインフラ整備を指します。橋を架け、道路を直し、ため池を作るといった活動は、農地の拡大や流通の促進に役立ちました。こうした行動は人々の暮らしを具体的に改善し、当時の朝廷から弾圧を受けながらも圧倒的な民衆の支持を得ました。
問7	答え 2 聖武天皇	聖武天皇は、各地に国分寺を建て、東大寺には大仏を造立しました。彼の没後、光明皇后がその冥福を祈り、愛用していた多くの品々を東大寺に奉納したものが、現在の正倉院の宝物となっています。
問8	答え 4 天平文化	天平文化は、聖武天皇を中心とする貴族や仏教が主導した文化です。唐の影響だけでなく、シルクロードを通じて伝わった西アジアの文化の影響も強く見られ、国際的で豪華な特徴を持っています。代表例として、東大寺の大仏建立や、正倉院に保管されている宝物などがあります。
問9	答え 1 長安	長安は、当時の中国の首都であり、碁盤の目状にきれいに区画された都市構造を持っていました。日本はこの長安の計画を参考にして、平城京を建設しました。中央に朱雀大路という広い通りを通し、東西の市（市場）を配置するなど、国家の権威を象徴する都市づくりが行われました。
問10	答え 3 東大寺	東大寺は、743年の大仏造立の詔により、聖武天皇が中心となって建立されました。この寺は全国の国分寺の総本山としての役割を担い、鎮護国家の象徴として位置づけられました。完成した大仏は、当時の人々の信仰心を集め、国家統一の精神的な拠り所となりました。
問11	答え 2 6歳以上	戸籍（庚午年籍など）を6年ごとに作り直し、6歳以上の男女に対して、身分や性別に応じた広さの口分田を貸し出しました。この制度により、政府は確実な徴税を目指しました。
問12	答え 4 口分田	口分田（くぶんでん）は、戸籍に基づき、6歳以上のすべての人々に政府が支給した耕作地です。農民はこの田から上がる収穫に対して税（租）を納める義務がありました。しかし、奈良時代に入ると人口が増加したため、国家が支給できる田が足りなくなり、新たな開墾が進められる要因となりました。
問13	答え 1 東大寺	聖武天皇の命により、各国の国分寺を束ねる総本山として建設されました。特に本尊である大仏の建立は、当時の国家プロジェクトとして非常に大きな規模で行われました。
問14	答え 3 万葉集	万葉集は、奈良時代末期にまとめられた日本最古の和歌集です。約4500首という膨大な歌が収められており、その中には天皇や貴族だけでなく、兵士である防人や農民といった、普段は歴史の記録に残りにくい人々の歌も含まれていることが大きな特徴です。素朴で力強い感情表現が多用されていることから、当時の人々の息吹を直接感じることができる資料です。
問15	答え 2 公地公民	7世紀の「大化の改新」によって打ち出された政策です。すべての土地を「公地」、すべての人民を「公民」と定義し、国家が直接管理することを目指しました。これにより班田収授法が成立し、税の徴収が計画されました。
問16	答え 4 木簡	木簡は主に松や杉などの板を薄く削って作られ、墨で文字が書かれました。これには税の品目や産地、送り主などが記されており、現在の配送伝票のような役割を果たしました。